

● NST(栄養サポートチーム)の紹介 ●

患者の皆様の栄養管理はおまかせください！

私たちは、普段食事をする事で食べ物から様々な栄養素を摂りいれています。食事が食べられなくなると体に必要な栄養素が不足して体調を崩しやすく、病気になった時に治りにくくなります。

NST(栄養サポートチーム)とはNutrition Support Teamの略で、日本では1997年ごろから活動を行う施設が増えてきました。岩美病院でも、2005年10月に栄養状態の悪い患者様をできるだけ早く察知して改善することを目的にチームを立ち上げたのでその活動を紹介します。

患者様個々の問題点に合わせた栄養管理の提案等を行います

まず、入院時に全患者様を対象に食事摂取状況や体重の変化、むせの有無等、栄養状態の問診をとります。低栄養のリスクがあると判定されたら医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、リハビリスタッフなど多職種で栄養状態の評価を行います。そして、患者様個々の問題点に合わせた栄養管理の提案、栄養状態の再評価などをおこなっています。

今までNSTが関わった患者様の主な栄養状態の問題点として多かったものは次のとおりでした。

栄養状態の問題点

食欲不振で食事が食べられない。

飲み込みの機能が低下し、食事がうまく食べられない。

個々の状態に合わせた食事の工夫をしています

入院患者様は高齢の方が多く、環境の変化、嗜好や盛付け量などで食事意欲が低下したり、飲み込みの機能が低下し、むせて食事が摂取できなかつたりすることがあります。そこで、盛付け量を減らして栄養補助食品をプラスしたり、食べやすい食形態にしたりと個々の状態に合わせた食事の工夫で必要な栄養量を摂取していただけるようにしています。また、口から食べることが難しくなった場合は他の栄養補給方法を検討していきます。

今後は、入院中だけでなく退院後も継続して栄養管理が行えるようフォローが必要であると考えています。

今年も恒例となりましたXmasイベントを12月24日(水)に岩美病院ひまわりホールにて開催致しました。

岩美コーラスの皆さんから、今年は聴くだけでなく皆さんも口ずさめる歌を！という事で病院職員の中でリクエストを行い、その中から厳選した曲と歌声をプレゼントしてくださいました。

そして、岩美病院イベント部員によるハンドベル演奏。今年は新曲追加もあり、盛り上がりました。来年以降も継続していきたいと思っています。

